

## 6 その他の教材

6-4 1	ひっぱってこねよう	S部門	高等部
6-4 2	ビーズを通しにむけて	S部門	高等部
6-4 3	慣らしてみよう、この手で	S部門	高等部
6-4 4	キラキラうろこを分けよう	S部門	高等部
6-4 5	ラベルをはがし、キャップをとろう	S部門	高等部
6-4 6	誰でもチョッキン	S部門	高等部
6-4 7	つっぱり棒	S部門	高等部
6-4 8	引っ張ってみよう	S部門	高等部
6-4 9	引っ張って～！	S部門	高等部
6-5 0	からだで覚えよう！上・下・左・右	S部門	高等部
6-5 1	これでわかる！現代詩会	S部門	高等部
6-5 2	新聞で世界を広げよう	S部門	高等部
6-5 3	ローラー滑り台	S部門	高等部
6-5 4	みんなで歌おう・からだをうごかそう	S部門	自立活動部
6-5 5	遠隔で専門家の指導を	B部門	高等部
6-5 6	さまざまな化学変化（酸化・燃焼）	B部門	中学部
6-5 7	もちものかくにん表	B部門	小学部
6-5 8	身近な物の名前を知る	S部門	高等部

# ひっぱってこねよう ～うでを動かして粘土をこねよう～

対象となる児童・子ども

S 部門 全 学部

(全学習グループ)

全ての 教育課程

・手首や腕でひっぱることによって金づちが上に動き、手首や腕の力を抜くことによって金づちが下に動き、粘土などをこねることができる教材です。

ねらい

・輪っかを腕に通して腕を動かすことによって、自分の力で粘土をこねる経験を積む。力強く輪っかについた紐を腕を使って伸ばせば伸ばすほど、力を抜いた時に粘土をこねる力が強くなることを知る。  
・粘土をこねる時の音を聴き、様子に注目する。

ポイント

・子どもの実態に応じて輪っかの大きさや紐の長さを変えることによって様々な子どもに使いやすくなる。  
・紐ではなく、棒などを使ったり、粘土ではなく餅をついたりなど応用性がある。  
・子どもが怪我をしないよう、金づちの凸部には養生テープを3重に貼った。



## 教材の使い方、指導の実践例など

### パターン1

ある程度手や腕を動かせる子ども

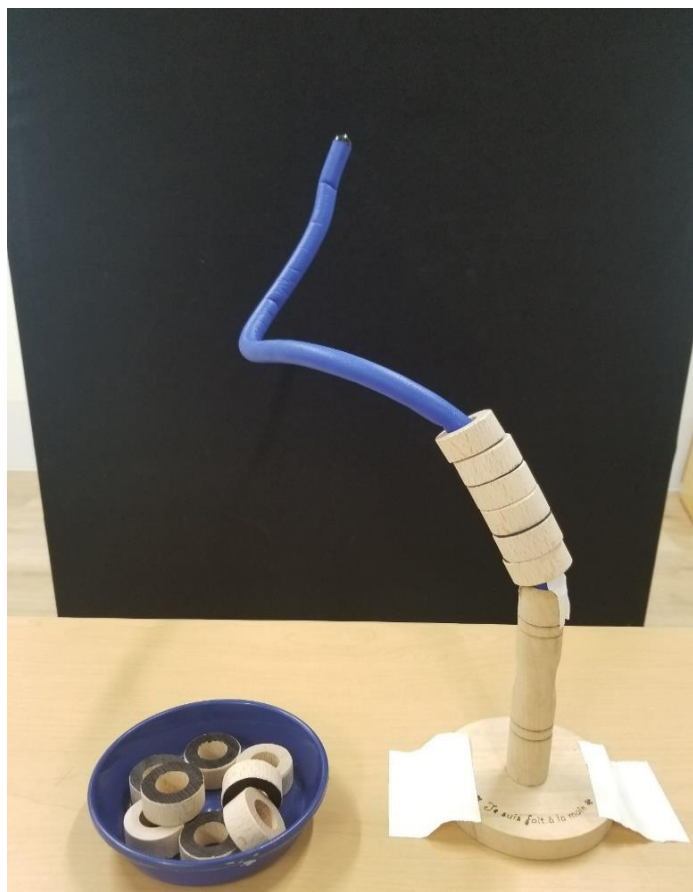
- ①黄色い輪っかを子どもの手首や腕にまく。
- ②子どもが上の方向に手首や腕を動かして金づちが上に動く。
- ③子どもが手首や腕の力を抜き、金づちが下に動き、粘土をこねることができる。

### パターン2

手や腕を動かすのが難しい子ども

- ①黄色い輪っかを子どもの手首や腕にまく。
- ②教員が子どもの手首や腕を動かして金づちを上に動かす。
- ③教員が手を放し、子どもが手を放すと金づちが下に動き、粘土に力を加えることができる。

## ビーズを通しにむけて ～手・目を使おう～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( C学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ・脳性麻痺、知的発達障害
- ・指先でつまむことができる
- ・集中できる時間が短い

### ねらい

- ・手の巧緻性の向上
- ・手元への注視
- ・学習に取り組める時間を延ばす

### ポイント

曲がる素材を使うことで、生徒の動きに合わせて向きや位置を変えることができる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

指導時間…手や目の扱い方の向上を目指し、個別の時間に取り組んだ

使い方…木のビーズを青いコードに通す

成果…固定された棒に通すよりも不安定なため、見て入れようとするが増えた  
やるべきことがわかりやすく、集中できる時間が少しずつ延びてきた。

# 鳴らしてみよう、この手で ～音の響きをこの手で感じながら～



## 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

B学習グループ

自立活動を主とする 教育課程

自分が動かしたいと思う方向へ手を動かして、楽器を鳴らすことが難しい生徒

## ねらい

打楽器を鳴らした時の振動と音の両方を体感できる教具を作りました。  
手首に着けると、本人のタイミングで音を鳴らすことができます。

## ポイント

- ・身近な材料で作れます。材料は、ガムテープの芯とヘアゴム、ガムテープの3点のみ。
- ・手を痛めずに、音が鳴らせます。手首に装着するだけで簡単。

## 教材の使い方、指導の実践例など

【指導場面】  
・楽器を鳴らす時  
例)音楽

【使い方】  
・手首に装着  
・楽器の打面に当たるようにセット

【より音が鳴りやすい楽器】  
・バスドラムのような、  
表面積の大きい楽器



# キラキラうろこを分けよう

～1対1対応を学ぶ～

## 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( C 学習グループ )

自立活動を主とする 教育課程

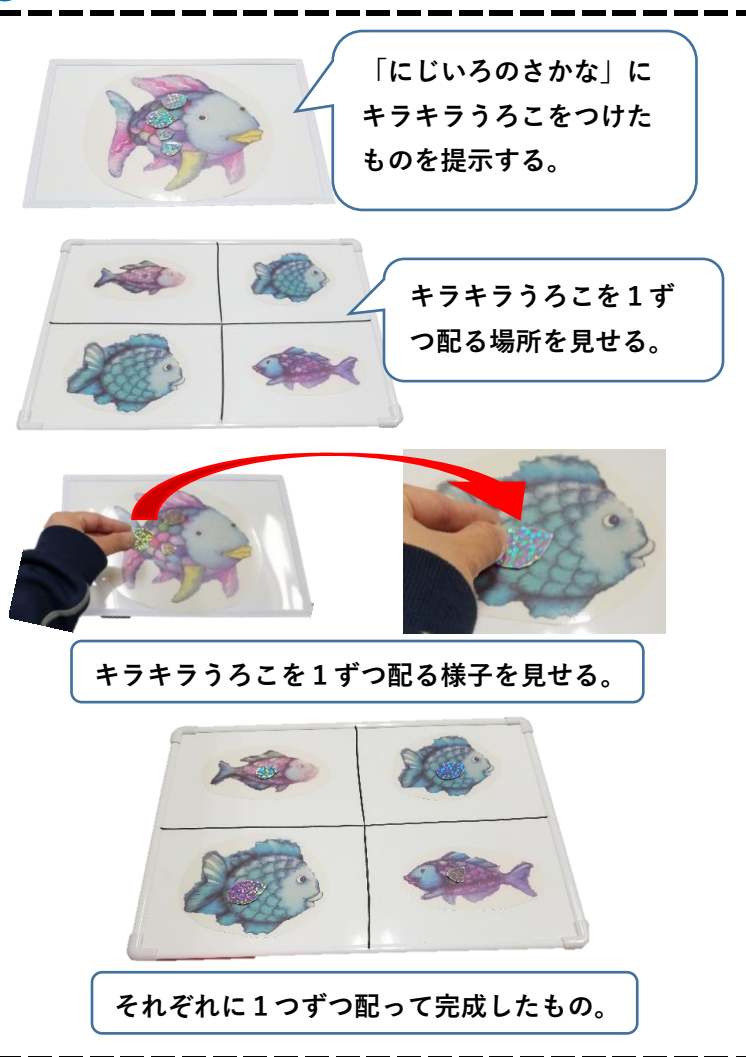
小さいもの物でも掴む、離すができる。  
視覚優位な生徒。

## ねらい

物語の内容を理解する。  
それぞれの魚にキラキラうろこを置けるようになる。(1対1対応ができるようになる)

## ポイント

- ・キラキラが生徒の興味を引いた。
- ・磁石で付けることで、一回置いたものが動かないようにした。
- ・魚の場所を見て、生徒が置けるようになった。

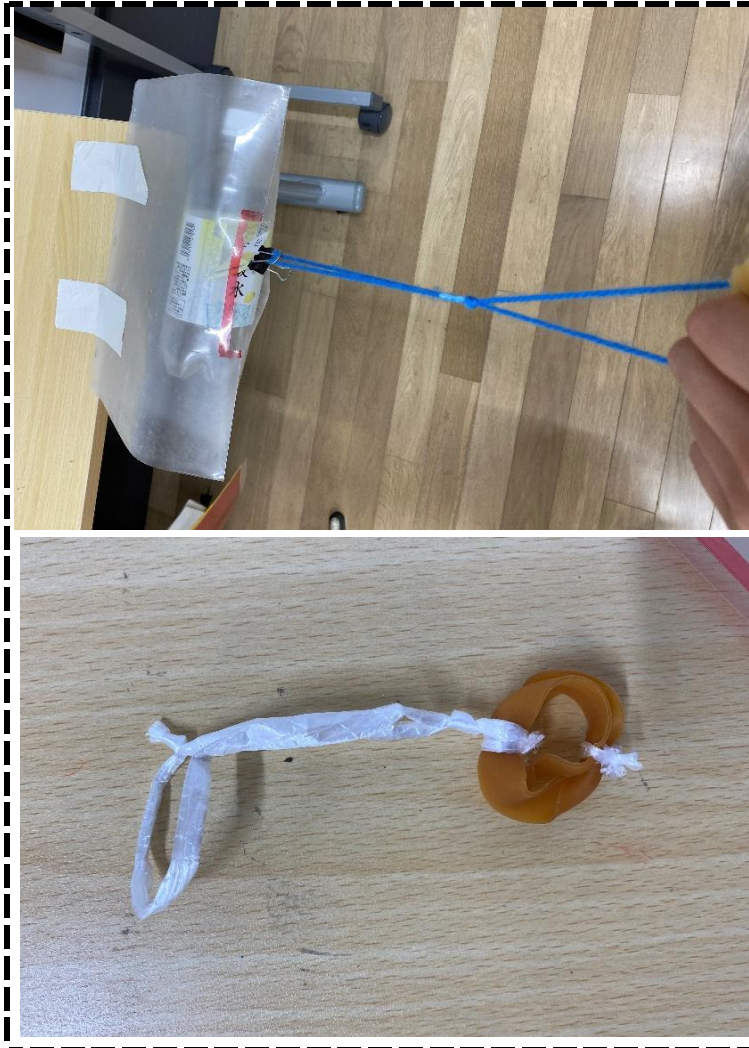


## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・「にじいろのさかな」の読み聞かせをする。
- ↓
- ・キラキラうろこを教員が魚にキラキラうろこを1枚ずつ配るのを見せる。
- ↓
- ・同じものを使い、始めは教職員と一緒に魚に配る。  
この時に、キラキラうろこを指でつまむこと、よく見て行うことを伝える。
- ↓
- ・何回か繰り返し行くと、生徒がキラキラうろこを置けるようになってきた！  
魚の大きさを見てキラキラうろこの大きさに合わせてするようになった。



## ラベルをはがし、キャップをとろう ～「引っ張る」を通して～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ・小さなものをつまんだり動かしたりすることが難しい生徒
- ・筋緊張や不随意運動がある生徒

### ねらい

「引っ張る」動作だけでラベルをはがしたりキャップをとったりすることで、できたという達成感を得られるようにする。

### ポイント

- ・スズランテープを引っ張ることにより、ラベルをはがし、キャップをとる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

#### 【ラベルはがし】

- ①切り込みを入れたクリアファイルにペットボトルを入れる
- ②ラベルの先端部分をはがし、クリップで止める
- ③持ち手を握り、引っ張る

#### 【キャップとり】

- ①ゴム部分にキャップを取り付ける
- ②スズランテープを引っ張り、キャップをとる



## 誰でもチョッキン ～ハサミを使って切ってみよう～

### 対象となる児童・生徒

#### A 部門 全 学部

(全学習グループ)

全ての 教育課程

- ・誰もが使えるハサミです。
- ・手元に視線を向けることが難しい児童生徒でも、支援方法を変えることで目の前で見て切ることができるハサミです。

### ねらい

- ・押す、握るなどの動きを使い、自分の力で切る経験を積む。
- ・紙を切っている時の音や振動を味わう。
- ・紙が切れる様子に注目する。

### ポイント

- ・高価なユニバーサルデザインの手サミを100円ショップの材料と工夫で作製しました。解体ができるので収納にも便利です。
- ・個に応じた3パターンの使用方法があります。

### 教材の使い方、指導の実践例など

#### (パターン① 対象：手を握ることができる児童生徒)

→ハサミを握って対象物を切る。対象物は、動かないように固定するとよい。ハサミを持っていない手を切らないように注意する。

#### (パターン② 対象：上から押すことができる児童生徒)

→土台をテーブルなどに固定する。ハサミをセットする。ハサミの部分だけでは切りにくい児童は、押す部分にも台をつける。

#### (パターン③：パターン②の応用) 対象：仰臥位姿勢が多い、または手元に視線を向けることが難しい児童生徒)

→土台をミニホワイトボードに固定する。ハサミをセットする。児童が見やすい位置で教職員と一緒にハサミで切る。(ミニホワイトボードとしたのは、軽いこと、グッと押ししても曲がらないこと、切る物が紙など薄い物であれば、磁石で固定できることなどのメリットがあるからです。)

## つっぱり棒 ～なんでもオンオフ～



### 対象となる児童・生徒

#### S 部門 高等部

#### E学習グループ

知的障害を併せ有する 教育課程

・手に装具して、スイッチを押します。自分の思う方向へ手を動かすことが難しい生徒用に作りました。

### ねらい

・利き手につっぱり棒を装着し、自分の意思で腕を動かして道具を操作するすることができる。

### ポイント

・大きな動きから小さなスイッチ押しに力を伝える。本人が自分でできたという達成感を得ることができる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

#### 【指導場面】

手につっぱり棒を装着



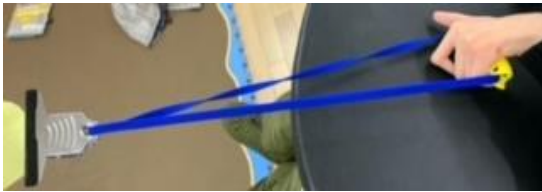
ミシンのスタートボタンを「3・2・1」とカウントダウンして、押す。  
(腕を支えることで自分の力でスタートボタンを押すことができる。)



ミシンの縫い終わりの時にはもうすぐストップすることを伝え、「3・2・1」とカウントダウンしてストップボタンを押す。



## 引っ張ってみよう ～ちぎれる感触を感じる～



### 対象となる児童・生徒

#### S 部門 高等部

#### B学習グループ

自立活動を主とする 教育課程

- ・一人で紙をちぎれない生徒
- ・引っ張る力が弱い生徒向け
- ・手で握り、紙をちぎる活動で使います。

### ねらい

- ・引っ張るときの手に力が加わる感覚と紙がちぎれるときの振動や感覚を体感する。
- ・自分の動かしやすい方向に動かす。

### ポイント

- ・紐だけだと指が痛くなるので、シリコングリップ、柔らかい紐、大きなクリップ、ゴムバンドを使用。
- ・生徒に合わせて手に握るグリップを変えることができる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

ちぎる紙にクリップを挟む

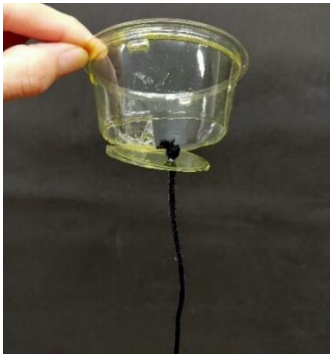


グリップの溝に指を添わせて包み込むように握る  
(必要に応じてバンドで固定する)



ちぎる紙をどちらもグリップや教職員が手に持ち、声掛けでグリップを引っ張る

## 引っ張って～！ ～見ながら、和紙を落とそう～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( A学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

- ・対象物を目で捉えることができる生徒  
や言葉かけを受けて、腕を動かすことができる生徒

### ねらい

- ・自分で腕を動かしたことで、物が動いたことに気が付く、理解する

### ポイント

- ・和紙が見えるように透明のカップを使用する。
- ・対象物を捉えられる位置にカップを設定する。

### 教材の使い方、指導の実践例など

- ・美術で、和紙のちぎり絵を行いました。ちぎった和紙を貼るとき、自分で紙を落とすために使用しました。

※学校介護職員の中山容子先生と一緒に考えて作りました。

## からだで覚えよう！上・下・左・右

### 対象となる児童・生徒

#### S 部門 高等部

( D 学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程

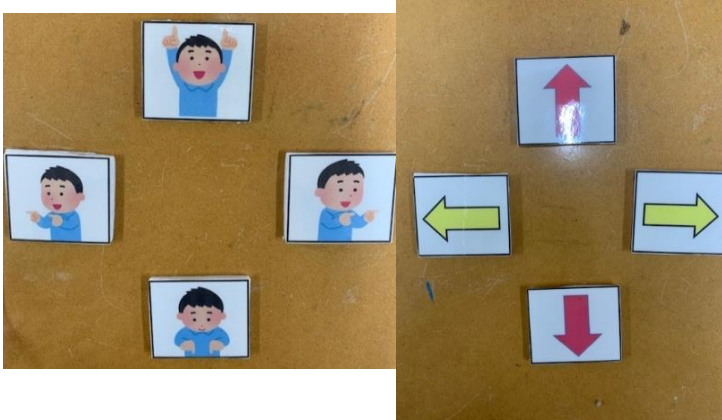
- ・上下左右等の認知があいまいで言葉と一致していない。
- ・視機能障害がある。

### ねらい

- ・言葉（音声）の提示と同時に身体を使って感覚を身に着ける。

### ポイント

- ステップを設定し、段階的に学習しながら身に着けられるようにする。



### 教材の使い方、指導の実践例など

- ①イラストカード（人物）・生徒の正面に座り、「上下左右の」言葉かけをしながら同じように手を上下左右に伸ばし模倣させる。できたら伸ばしたところで手をタッチする。
- ②イラストカード（矢印）・上記の要領でカードを矢印にかえる。
- ③ボール入れ・言葉（音声）と見本のカードを提示しながら生徒がボールを入れる。
- ④言葉（音声）の提示で生徒がボールを正しい方向へ入れる。

# これでわかる！現代社会 ～見開き1枚完結学習～

## 対象となる児童・生徒

S 部門 高 等部

(F学習グループ)

準ずる 教育課程

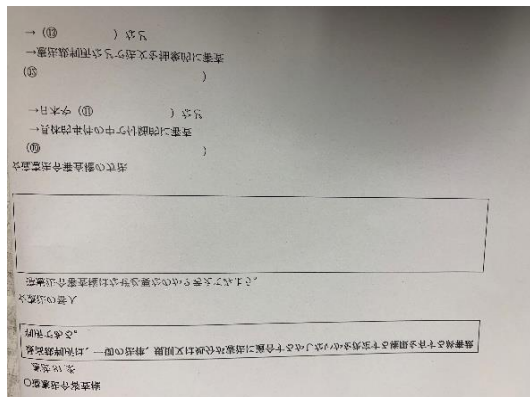
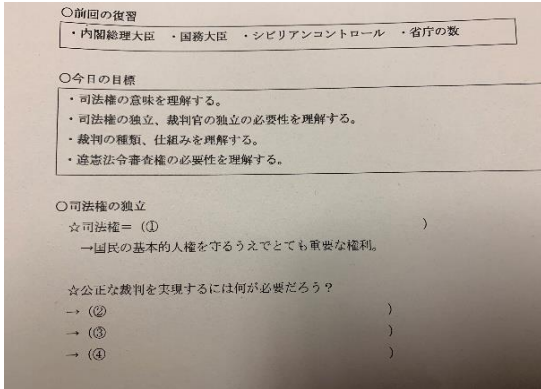
- ・ 準ずる教育課程の生徒。
- ・ 書き取る力が高い生徒。
- ・ 文章読解能力が高い生徒。

## ねらい

- ・ 各單元ごとに学習内容を見開き1枚で学習・振り返ることができる。
- ・ 設問に対する自分の考えを記録することができる。

## ポイント

- ・ 復習・本時学習・振り返りを見開き1枚で完結できる。
- ・ ファイルに綴じすることで、ノートとして活用できる。
- ・ 見開き1枚なので、見直しが簡単。

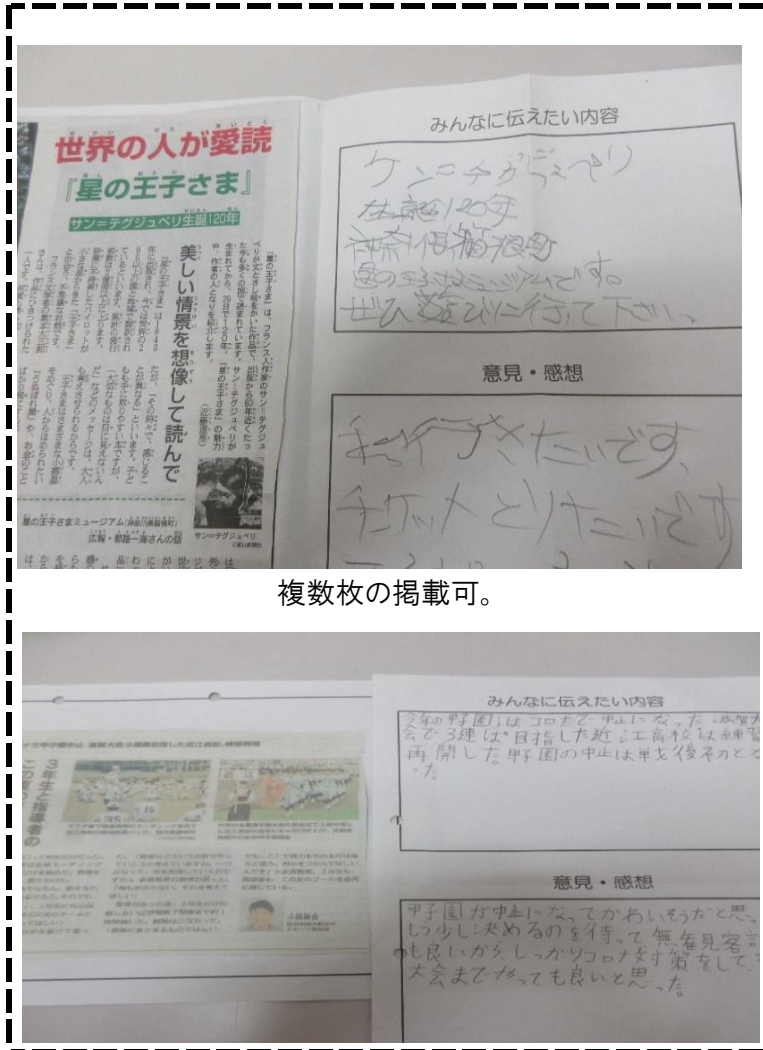


## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・ 前時の復習を実施するため、前回の学習と関連するキーワードを掲載する。
- ・ ワークシート内において問いを設け、調べ学習を実施する。
- ・ 見開き1枚なので培養が簡潔である。そのため生徒の理解度に応じて口頭説明を充実させたり、発展的質問を実施したり、個に応じた学習を展開できる。
- ・ ファイルに綴じさせることで、ノート代わりに活用できる。
- ・ 学習事項をプリントにまとめているので、流れに沿って授業進行ができる。
- ・ 余白が多いので、生徒が重要であると感じた個所をメモに取る事が可能である。(主体的な学習の推進) また教員も口頭説明内容を記しておき、実態に応じた授業展開の準備が可能である。



# 新聞で世界を広げよう ～学生新聞の記事をとりあげて～



複数枚の掲載可。

## 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( E 学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程

肢体の障害と知的障害を併せ有する生徒たちの学習グループの授業で取り上げた教材です。

## ねらい

- ・ 学校で購読している学生新聞を取り上げて、生徒たちの興味や関心を広げる。
- ・ 自分の興味や関心から選んだ記事を発表することで伝える力をつける。

## ポイント

学生新聞は記事の分量もちょうどよく、読みやすい記事が載っています。社会の動きや同年代の人たちの興味や関心を知ったり、自分の興味を友だちに伝えたり、もっと知りたくなり調べたりと生徒が活用できます。

## 教材の使い方、指導の実践例など

1 学期当初は、関心がある記事の一つ選んで、グループの友だちに紹介しあいました。

コロナ関連の記事を選ぶ生徒が多い中、ロボットコンテストの広告を取り上げたり、『集まれ! どうぶつの森』が流行しているという記事をおすすめポイントと共に紹介したりする生徒もいました。高校生の投書欄の記事を読んで、「僕も『鬼滅の刃』が大好きです。」と語りだす生徒もいました。家とっていた新聞に関心を持ち、毎日、音読している生徒の話も聞きました。新聞に載っていた小説が気に入って、家庭でも学生新聞を購読し始めたケースもありました。なじみが薄かった新聞が情報を得るための一つの手段として知ることができました。

## ローラー滑り台 ～滑る感覚を楽しもう～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高 学部

A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程

自分から動くのが難しい生徒で、揺れる、浮く等の動きを体感してそれらに気づける。

### ねらい

- ・滑り落ちる動きを楽しむとともに、重力を体感する。
- ・風船プールの中で、風船の感触を感じる。

### ポイント

- ・滑り落ちる感覚を楽しめる。
- ・教員がスピードを調節できる。
- ・風船の中に突入することにより、その感触を楽しめる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

- ・ローラー滑り台を3台用意し、机に固定する。
- ・セラピーマットをローラーに載せ、さらにその上にマットを載せる(マットには2か所ひもと取っ手をつけておく)。
- ・生徒を乗せて、落ちないようにクッション等で固定する。
- ・教員が引っ張り上げる。
- ・教員がスピードを調整しながら滑り落ちる。

# みんなで歌おう・からだをうごかそう

～配信用の動画教材です～

## 対象となる児童・生徒

両部門 全学部

( 学習グループ )

全ての教育課程

さまざまな実態の児童生徒に対応できるように、配慮しています。

## ねらい

在宅時間が増える状況にあるため、自宅でも楽しみながらことばやコミュニケーション学習、身体のケアができるようにと考えました。

## ポイント

- ・見えにくさ、聞こえにくさに配慮しました。
- ・障害の程度にかかわらず、利用できるよう配慮しました。
- ・自立活動部教員それぞれの得意を生かしました。

自立活動部です

リズムの  
のびのびたいそう



自立活動部

1道場

おなかの取り組み



自立活動部です

スタジオ  
手話の歌 にじ

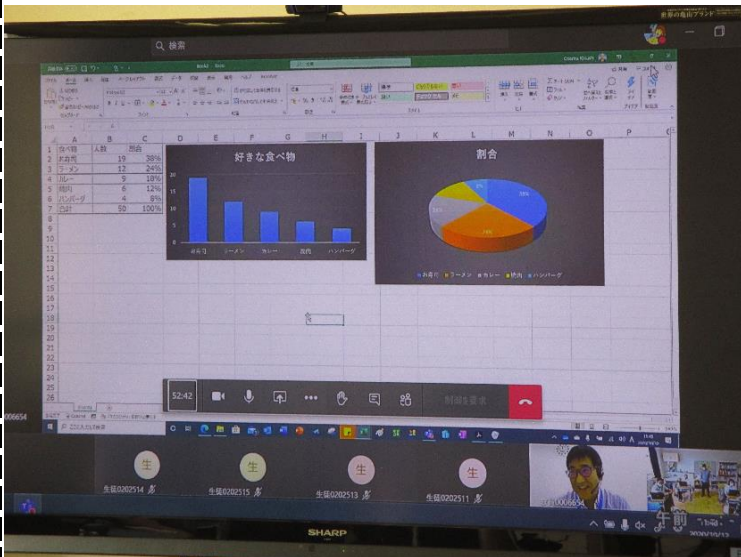


## 教材の使い方、指導の実践例など

- 体操は、簡単な屈伸やストレッチを音楽に合わせて行う内容です。運動能力や身体の大きさに合わせて、いくつかのパターンを含めています。
- 身体の手組みでは、自分の身体をしっかり感じ、ゆったり深い呼吸をするための手当を安全に行なえる内容になっています。
- 手話の歌では、一番を2回繰り返し、1回目は文字で歌詞を表示し、2回目はシンボルなどで歌詞のイメージを伝えるようにしました。
- 配信用の教材として、また初めて児童生徒の体に触れる方への参考資料として活用しています。

## 遠隔で専門家の指導を ～Microsoft Teams～

ファイルを共有して、指導を受け  
ることができる



日本マイクロソフト社の社員さん  
と遠隔でつなぐ

### 対象となる児童・生徒

B 部門 高等 部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

就労や進学を目指し、PC活用の技術を高  
める必要がある集団である。

### ねらい

- ・ 専門家からオフィスソフトの技術的な  
指導を受ける。
- ・ 遠隔勤務を体験する。

### ポイント

- ・ 全都で一括導入
- ・ 外部とは接続できないので安心して活用  
できる

### 教材の使い方、指導の実践例など

- ・ 日本マイクロソフト社の社員とビデオ会議でつなぎ、  
Excelについての指導を受ける。
- ・ マニュアルなどは、ファイル共有システムを利用し、事前に送付してもらう。
- ・ ビデオ会議を通して、疑問点を解消する。
- ・ 遠隔での作業を通して、オンライン勤務を疑似体験する。  
→ 自分の将来の就労のイメージに
- ・ 画面共有機能を使用し、自分の作った作品を発表する。  
→ プレゼンテーション能力の向上

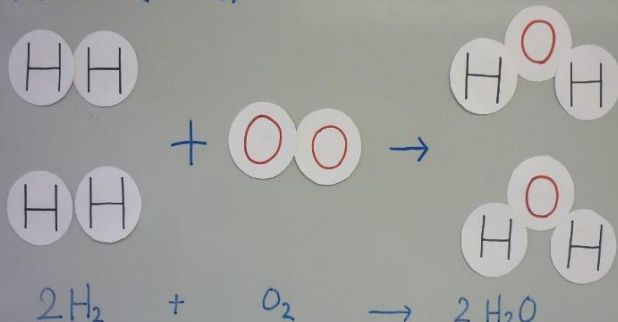


# さまざまな化学変化(酸化・燃焼)

～原子・分子モデルによる化学反応式の理解～

中学部2年 化学変化と原子・分子より、酸化反応の1例

酸化(燃焼)



対象となる児童・生徒

B 部門 中高 学部

( そよかぜ分教室 )

準ずる 教育課程

入院・治療に伴う学習空白や学習意欲の低下が見られる場合がある。また、身体活動の制限が伴うことがある。

ねらい

原子モデルを用いて化学変化を視覚的に理解する。

ポイント

さまざまな化学反応を原子モデルを用いて簡単に表すことができ、化学反応のプロセスも視覚的にも理解しやすい。

教材の使い方、指導の実践例など

教材について

- ・使用した授業【中学部2理科 化学変化と原子・分子】
- ・使用方法・工夫した内容

ホワイトボード上でこの原子・分子モデルを活用し、化学反応式、イオン、電離などをモデル化して表すことができる。裏に磁石が貼ってあり、何度でも繰り返し使用可能である。

・使用してみて生徒の反応は？

原子・分子モデルを使用することによって、難しい化学反応式が視覚的に捉えることができ、理解の助けになった。

# もちものかくにん表

～じぶんでやってみよう～

## 対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

そよかぜ分教室

準ずる 教育課程

小学部低学年の入院間もない児童

## ねらい

入院中、保護者が面会に来れない翌日など、忘れ物が多くなってしまいうことが多い。少しずつ、身の回りのことを自分でできるようになるために、まず明日の学校の準備を自分で確認しながら取り組むことを目指した。

## ポイント

取り組みやすいように、チェック項目数を増やさず、必要なものだけに絞った。また、イラストで、視覚的にも認識しやすくした。

もちもの かくにん 名まえ ( )・かばんに いれたら、○を つけましょう

		げつ 月	ひ 火	すい 水	もく 木	きん 金
1. きょうかしよ						
2. ノート						
3. ふてばこ						
4. のみもの						
せんせいのかくにん						

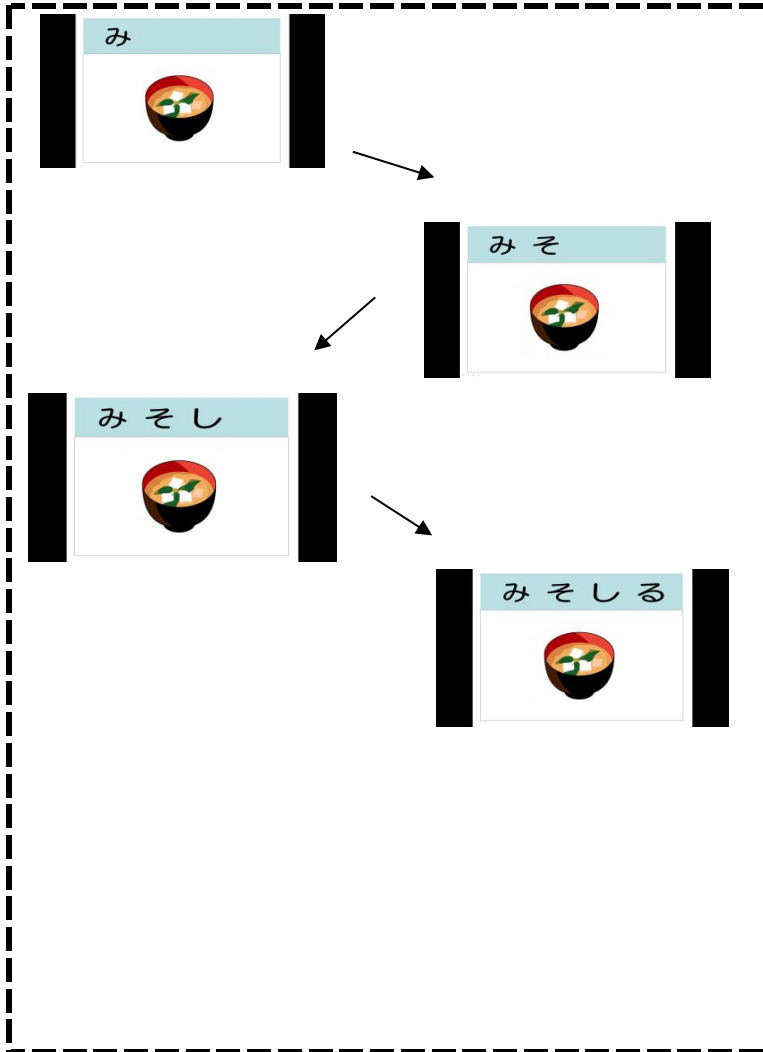
## 教材の使い方、指導の実践例など

1週間ごとの確認表として作成したので、金曜日に最後の欄に、児童への応援の言葉を記入して返すことで、「次週も頑張ろうという」気持ちに繋がたい。回数を重ねることで、児童の自信にもなり、自立への一歩となるとよいと考えている。

保護者には「もちものかくにんひょう」の意図を伝え、最初是一緒に、自分でやろうとしているときは見守ってくれること、頑張っているときは褒めることなどをお願いした。

○をつける以外にも、児童にあわせてシールを張るなど、楽しみながらできるようにした。

# 身近な物の名前を知る ～食べ物編～



## 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

( B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

・明確な発語はみられない。簡単な名詞、身の回りしたこと(トイレやお茶等)について理解できている単語がある。

## ねらい

・語彙を増やすことでコミュニケーションの幅を広げる。

## ポイント

- ・効果音をつけることで生徒の興味を引く。
- ・身の回りにある物の名前を覚えることができる。
- ・スイッチを押すことでページが進む などの工夫をして、生徒が参加しやすくする。

## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・パワーポイントで作成した教材で、生徒がインタラクティブボードを触ることで写真が出たり、一文字ずつ平仮名がでてきて文字を意識することができるようになっている。
- ・主に国語の授業で使用している。
- ・授業中のみではなく、いろいろな場面で教材として使用する事で身の回りの物の名前の定着を図ることができる。
- ・繰り返し見ても飽きないように効果音でリズム感を生むような工夫をしている。